

# 戦禍と命

信州から見た世界

ロシアのニュースで、信州人の名前が再び取り上げられ始めた。「戦争犯罪」のそしりとともに。

旧日本軍731部隊の製造課長だった上田市出身の柄沢十三夫・軍医少佐。終戦から4年後、ロシアで行われた「ハバロフスク裁判」で、細菌培養と人体実験を、世界で初めて公にしたことで知られる。

2021年、ロシア政府は、ハバロフスク裁判の意義を振り返る学術会議で、日本のアジア侵略と柄沢らの実験を改めて批判。プーチン大統領も「裁判について語ることは、歴史の歪曲にあらがうために重要」と祝辞を寄せた。

ロシアは現在まで731部隊を断罪し続けてきた。前身であるソ連は日ソ中立条約を破棄し、1945年8月9日に満州(中国東



731部隊で幹部だった柄沢十三夫。ロシア連邦保安局(FSB)の公開資料から

## ④ 731部隊 裁かれ続ける細菌戦の罪

# 悔恨の軍医 ロシアで最期

北部)に進軍。柄沢らを捕らえ、細菌戦・人体実験の解明に乗り出した。日本に戻っていた731部隊長の石井四郎中将らの引き渡しを連合国軍総司令部(GHQ)に求めた。

だが、認められたのは米軍立ち会いの石井らの尋問のみ。米政府は石井らの訴追免除と引き換えに、人体実験のデータを独占した。ソ連は49年12月、東京裁判に対抗するハバロフスク公開裁判を開き、731部隊を国家的犯罪として、関東軍総司令官、山田乙三大将や柄沢ら被告12人に強制労働刑を言い渡した。

公判記録によると柄沢は(問い)731部隊の監獄にいた者の中で、自由の身となった者がいるか？(柄沢)私を知る限りではない。(問い)全部虐殺された訳か？(柄沢)その通りだ。(問い)殺戮兵器の製造

最大製造量は？(柄沢)腸チフス菌は1カ月で8000~9000錠。炭疽菌は約6000錠、コレラ菌は約1ト。

(問い)731部隊の監獄にいた者の中で、自由の身となった者がいるか？(柄沢)私を知る限りではない。(問い)全部虐殺された訳か？(柄沢)その通りだ。(問い)殺戮兵器の製造



ロシア極東ハバロフスクで、731部隊を暴く裁判が開かれた将校会館。現在は軍関係の行事が催される=昨年3月、小柳悠志撮影

### 731部隊に関連する出来事

1925年	生物兵器の使用を禁じるジュネーブ議定書が締結
36年	「関東軍防疫部」として誕生
41年	日米開戦
45年	ソ連が対日参戦終戦
46~48年	東京裁判
49年	ハバロフスク裁判 →731部隊の実態を暴露 →日米は無視
56年	日ソ共同宣言(国交回復) 柄沢十三夫が死亡
80年代	日本で731部隊の存在が広く認知される

という自身の業務をどう考えるか。(柄沢)人間を治療する使命を持つ医師の見地からして悪いことだ。

柄沢は、戦時下の生物兵器の使用を禁じた1925年のジュネーブ議定書に反した事実を認めた。

加藤哲郎・一橋大名学教授は「ハバロフスク裁判はロシア側の政治宣伝の色が濃い、多くの真実も明らかになった。特に柄沢は正直に告白した」と評す。

米国にとって731部隊幹部との裏取引は極秘。日首をつつた柄沢が見つかった。発見したのは近衛文麿元首相の長男で、柄沢と親しかった近衛文隆中尉。文隆も直後に病で急死する。

罪を悔い、事実を語った柄沢の不可解な死。ソ連による暗殺説も絶えない。「帰国するという知らせは届いたが、実現しなかった。父のことは何も知らない」。幼い頃に生き別れ、県内で暮らす柄沢の息子は無念をにじませた。

柄沢が最期を迎えたロシア・イワンボロチェルツィ村の収容所跡。2021年10月、小柳悠志撮影